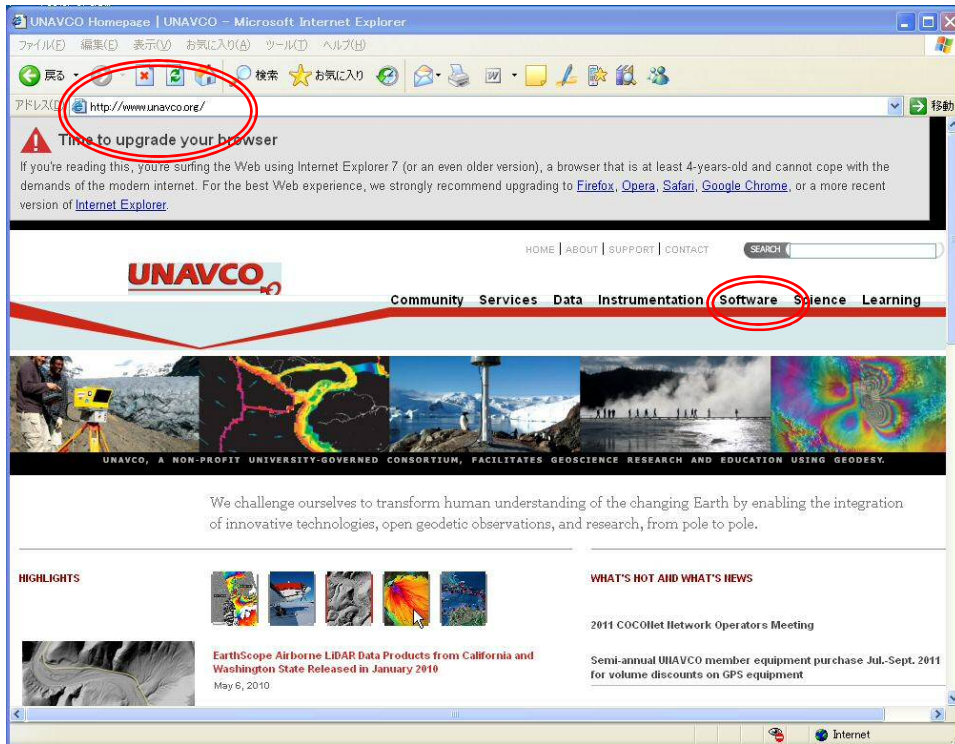


## teqc/unavco による RINEX データの編集(接合・結合)操作方法

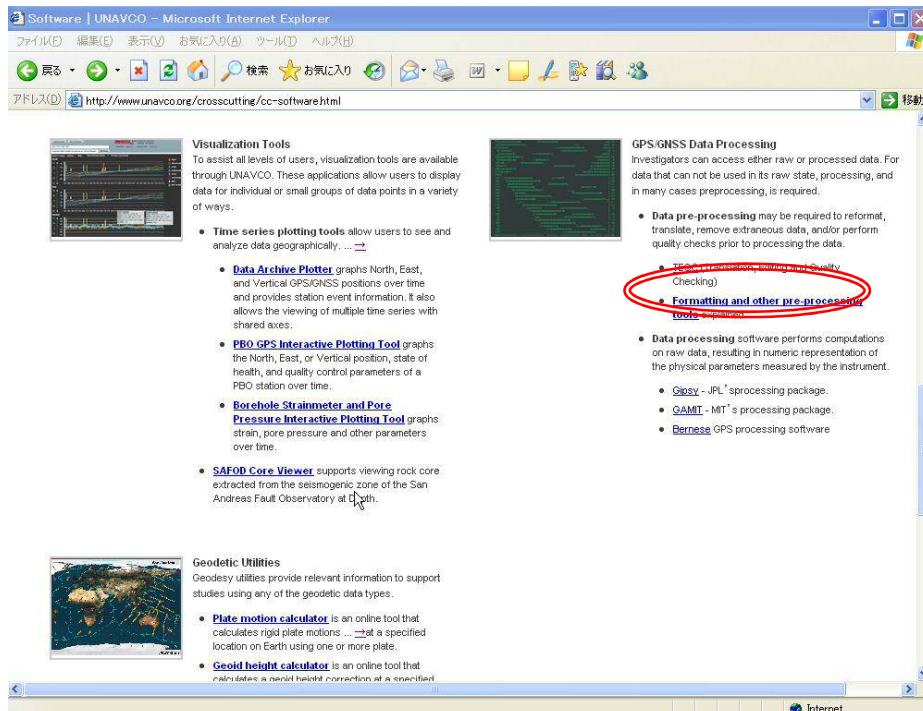
RINEX データの接合(結合)操作方法について手順を追って説明します。

### 1. teqcソフトウェアを米国 UNAVCO のホームページからダウンロードします。

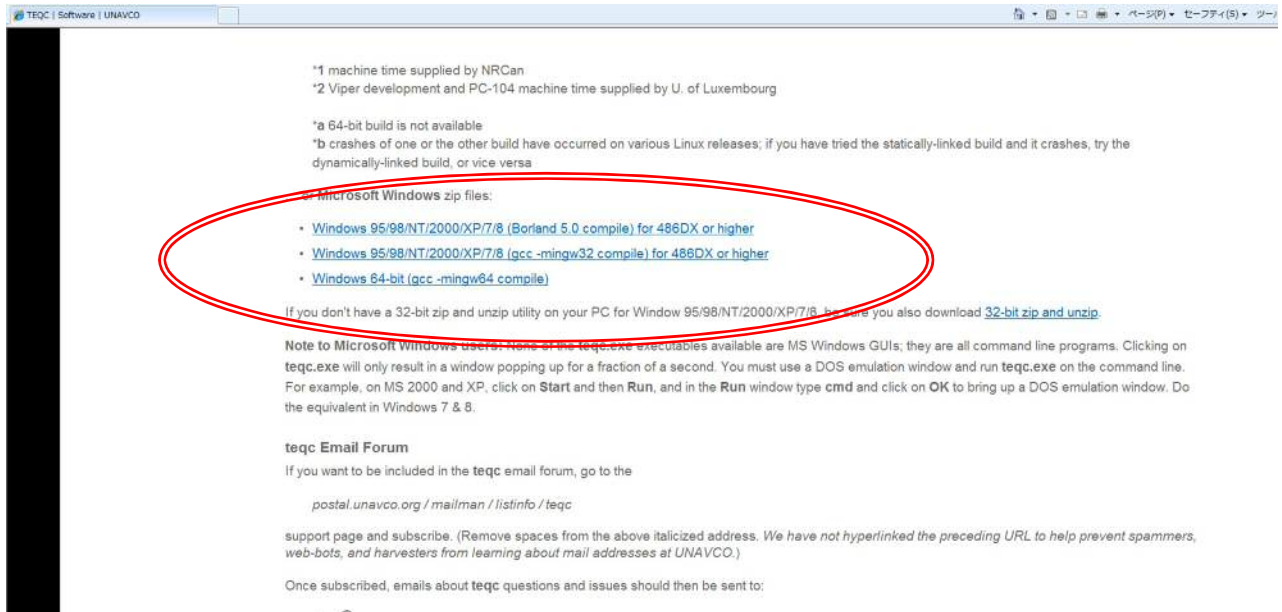
- ① URL: <http://www.unavco.org/> で UNAVCO ホームページにアクセスし Software を選択



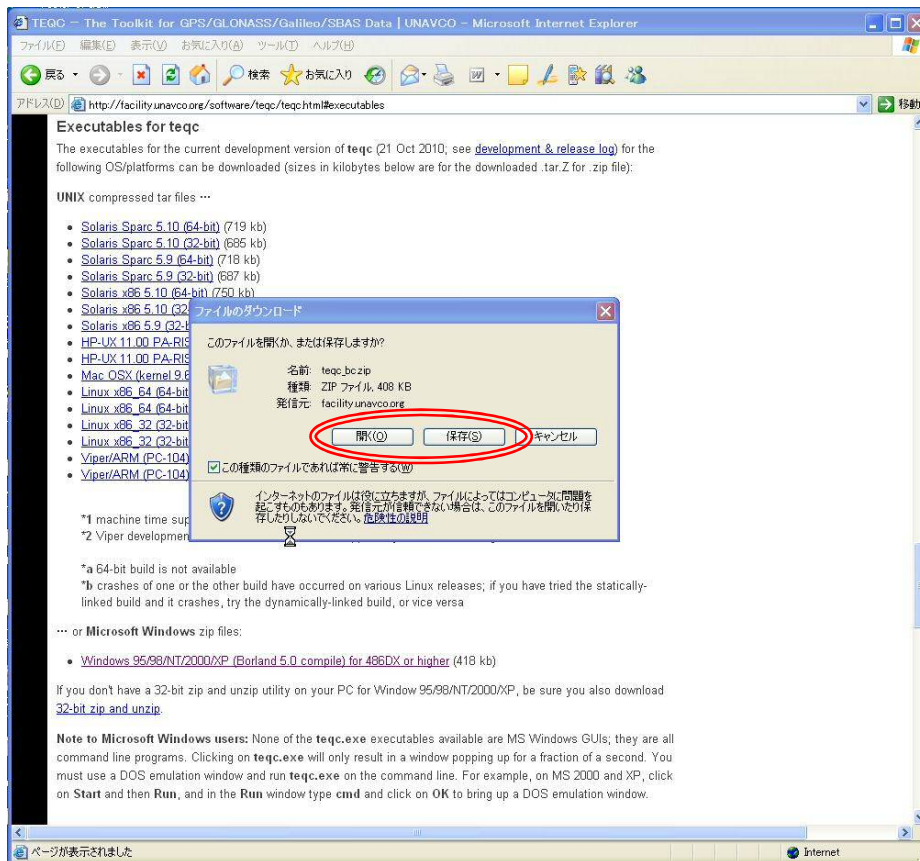
- ② Software のページ中段下右にある **TEQC** をクリック選択



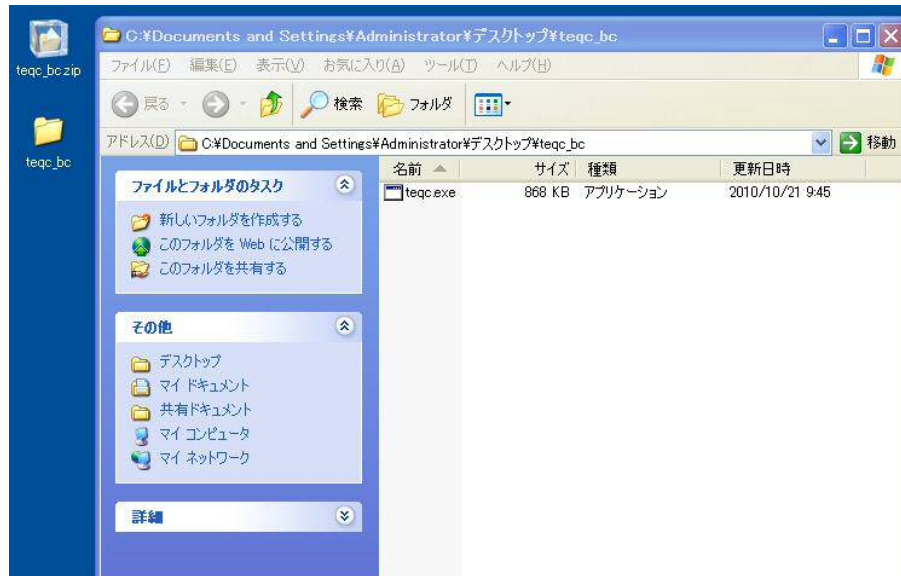
③ Executables for teqc の中から使用 OS にあったソフトウェア zip ファイルをダウンロード  
(下図では Windows95/98/NT/2000/XP.....を選択しています)



④ 上記③の選択クリックで下図画面となるので、開くか保存を選択し `teqc.exe` をダウンロード



- ⑤ 下図の例では、上記選択クリック保存を選択しダウンロード、保存 teqc.exe の圧縮ファイルを解凍した状態を示しています



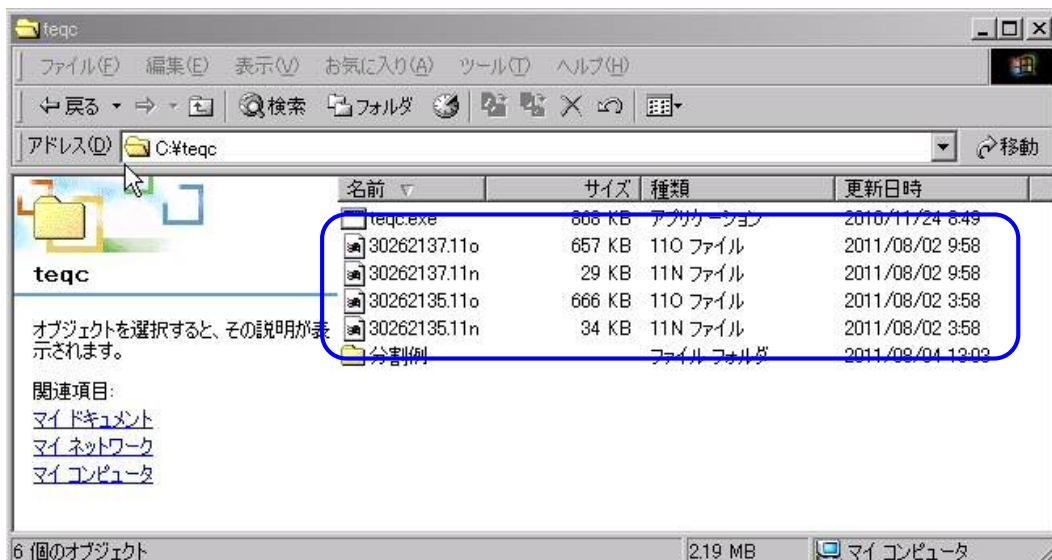
- ⑥ 上記解凍後のファイル・teqc.exe は後の操作で teqc ソフトの保管場所の指定や元データ/編集後データの保存先となるので、  
保管場所をローカルディスク[C]、ファイル名を teqc\_bc から[teqc] しておくと呼かり易いと思います

## 2. teqcによる RINEX データ(oファイル、nファイル)の接合・結合操作手順

- ① 接合・結合したい RINEX データを teqc 保管ファイル内におきます

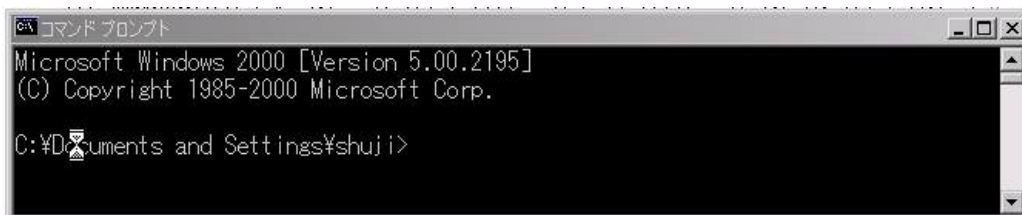
下記例では 2011/8/1 の国土地理院からダウンロードしたセッション5とセッション7のデータです

- ※ セッション5は UTC12:00:00～17:59:59 間(JST で 8/1 の 21:00:00～8/2 の 2:59:59 間)、  
セッション7は UTC18:00:00～23:59:59 間(JST で 8/2 の 00:00:00～8/2 の 8:59:59 間)

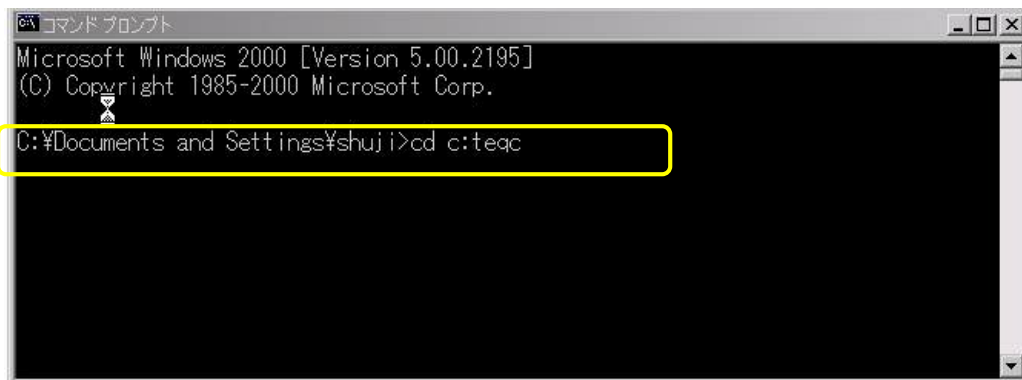


- ② Windows の[スタート] →[プログラム] →[アクセサリ] →[コマンドプロンプト] で

DOS コマンドプロンプトを立ち上げます



- ③ 上記図 C:.....> の後ろに下図のように cd c:¥teqc と入力し Enter(リターン)キー押下  
 ※ ¥ は一文字空欄(スペース)を示しています  
 (C:.....の表記は使用されるPCでの設定、保管ファイル場所で異なります)



- ④ 接合・結合する元のデータファイル1、元のデータファイル2、接合・結合後のデータファイル名を下記の書式で入力し Enter(リターン)キー押下

C: ¥teqc>teqc ¥●●●●●●●●●●. ●●○ ¥■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■. ■ ■ ■ ○> ¥ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲. ▲ ▲ ○

└──────────┘
└──────────┘
└──────────┘  
 元データ1                      元データ2                      接合・結合後データ名

※上記は観測データ(○ファイル)ですが、暦データ(nファイル)も同一名で接合・結合保存すること  
 下図は観測データ『30262135. 11○』と『30262137. 11○』を接合・結合し『3026213D. 11○』名の観測データを作成し、元暦情報データファイル『30262135. 11n』と『30262137. 11n』を接合・結合して『3026213D. 11n』名の観測データを作成する場合の例を示しています  
 ※ アンテナ種・モデルに対し IGS 標準テーブルに適合するものがないとの警告は無視下さい

```

コマンド プロンプト
Microsoft Windows 2000 [Version 5.00.2195]
(C) Copyright 1985-2000 Microsoft Corp.

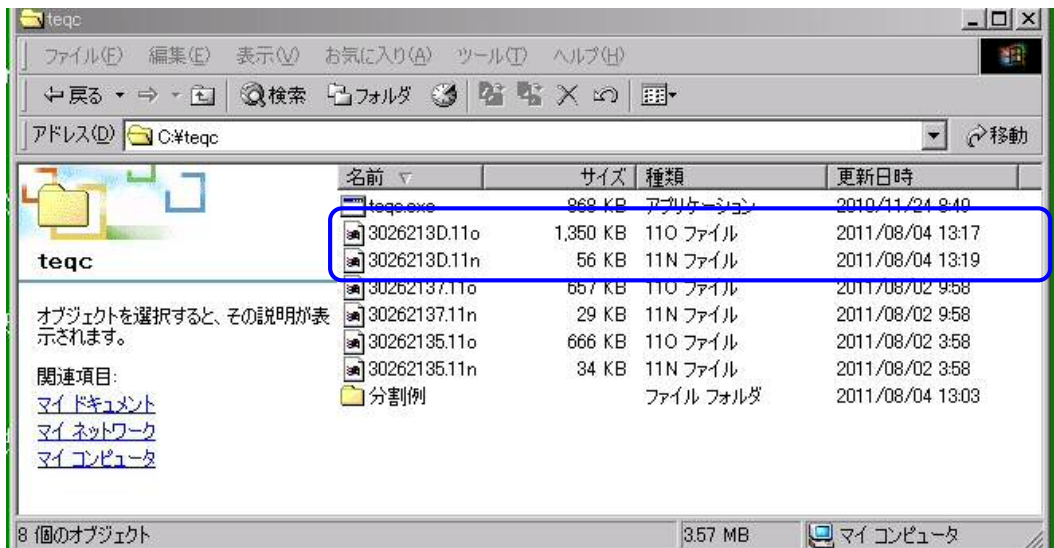
C:¥Documents and Settings¥shuji>cd c:¥teqc

C:¥teqc>teqc 30262135.11o 30262137.11o > 3026213D.11o
! Notice ! antenna/dome designation 'TRM29659.00   GSI' does not match any in
the IGS standard table
! Notice ! splicing RINEX files
! Notice ! antenna/dome designation 'TRM29659.00   GSI' does not match any in
the IGS standard table

C:¥teqc>teqc 30262135.11n 30262137.11n > 3026213D.11n
! Notice ! splicing RINEX files

C:¥teqc>
  
```

※ コマンドプロンプトで上記図の操作を行うと下図のように分割作成されたデータが  
teqcと同一ファイル内に設定入力したデータファイル名で保存されます



※ 上記操作で正常に接合・結合されたかは下図のように接合・結合前のデータと接合・結合後のデータを同一点の結合なしで NS-Survey に取り込んだときに、観測点タブの表の観測開始日時と観測終了日時にて判定、確認できます

NS-Survey - テスト

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) 解析(A) 点検計算(C) 帳票出力(P) ファイル出力(O) ツール(T) ヘルプ(H)

9 系 360000. 1395000.

レコーダ名	観測点N.	観測点名称	観測開始日時(GST)	観測終了日時(GST)	受信機名称	受信機シリアル	ア
S001	3026	3026	2011/08/01 21:00:00	2011/08/02 02:59:30	TRIMBL	5700	00000
S001	3026*(2)	3026	2011/08/02 03:00:00	2011/08/02 08:59:30	TRIMBL	5700	00000
213D	3026*(3)	3026	2011/08/01 21:00:00	2011/08/02 08:59:30	TRIMBL	5700	00000

観測点 20cm

観測点 バック

日本測地系2000 第9系 システム Ver 5.0